

2021 年度の熊本県名目経済成長率は▲3.5%

～個人消費の戻りは弱く、コロナ禍、復興需要剥落が尾を引く～

- 2021 年度の県名目経済成長率（GDP）は、コロナ禍の落ち込みから一部業種で回復が予想されるも、依然マイナス成長となると見られる。
- インフラ整備や大型建設工事は着実に進むも、コロナ禍や復興需要剥落の熊本特有の事情による影響がある。

1. 2020年度の熊本県経済

2020 年度の県内経済は、阿蘇の主要幹線道路の開通や鉄道の復旧などのインフラが整備され、盛り上がりが見られたが、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛等の影響が広がり、大幅に落ち込んだ。

個人消費：コロナ禍による生活基盤の変容、緊急事態宣言後の外出自粛などの影響を強く受け大幅減。

設備投資：桜町再開発への投資は完了。先が見えないコロナ禍で見送られる傾向にあり、JR 熊本駅ビルの建設などあるも大幅減。

住宅投資：熊本地震後の復興需要が剥落し、大幅減。

政府支出：持続化補助金、定額給付金などコロナ関連対策により増加。

公共投資：震災前に比べて水準は高いものの、復旧・復興工事に一服感がみられ減少。

上記のような状況を勘案し、2020 年度の熊本県の名目経済成長率は▲7.4%と予測した。

<予測方法について>

国や熊本県の過去の諸データや国内の経済動向見通しを基に、当研究所作成の計量計算モデルを用いて 2019 年度から 2021 年度を算出した。

図表 1 熊本県の名目 GDP 及び構成項目

億円、前年比 (%)

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	実額	成長率	実額	成長率	実額	成長率	実額	成長率	実額	成長率	実額	成長率
名目GDP	59,414	4.5	61,322	3.2	61,224	▲0.2	61,055	▲0.3	56,554	▲7.4	54,556	▲3.5
民間最終消費支出	34,744	▲0.1	35,333	1.7	35,645	0.9	35,370	▲0.8	28,776	▲18.6	27,569	▲4.2
民間企業設備投資	8,685	▲2.4	9,490	9.3	9,387	▲1.1	9,750	3.9	8,105	▲16.9	8,252	1.8
民間住宅投資	2,228	23.2	3,061	37.4	2,919	▲4.6	2,674	▲8.4	2,213	▲17.3	2,156	▲2.6
政府最終消費支出	17,203	8.2	17,074	▲0.7	16,242	▲4.9	16,706	2.9	17,922	7.3	18,145	1.2
公的固定資本形成	4,686	24.6	5,450	16.3	6,286	15.3	5,810	▲7.6	5,331	▲8.3	5,234	▲1.8
移出入(純)	▲7,919	4.6	▲10,134	▲28.0	▲10,182	▲4.7	▲10,182	0.0	▲6,720	34.0	▲7,728	▲15.0

資料：県民経済計算（熊本県） ※2019～2021 年度は当研究所予測

2. 2021年度の熊本県経済

巣ごもり消費などによって個人消費は一部に回復傾向もみられるものの戻りは弱く、コロナ禍と復旧・復興需要の剥落が重なり、全体としては減少する見通し。

上記のような状況を勘案し、2021年度の熊本県経済は6兆円台を割り込んだ前年度からさらに減少し、▲3.5%と2018年度実績から4年連続の減少を予測した。また、ワクチン開発などが期待されるものの、現時点では新型コロナウイルスの収束は見込んでいない。

【個人消費（民間最終消費支出）】 2021年度 ▲4.2%

大型商業施設の開業などにより、雇用環境の改善が期待され、所得環境の改善に寄与するも、昨年落ち込んだ反動の消費増加の戻りは弱い。

【設備投資（民間企業設備投資）】 2021年度 +1.8%

5G関連投資の本格化や、テレワークへの対応などシステムに関する投資あり、増加。

【住宅投資（民間住宅投資）】 2021年度 ▲2.6%

新型コロナウイルスや熊本地震の需要の先食い（被災住宅の建て替え等）の影響等で震災前の水準に減少。

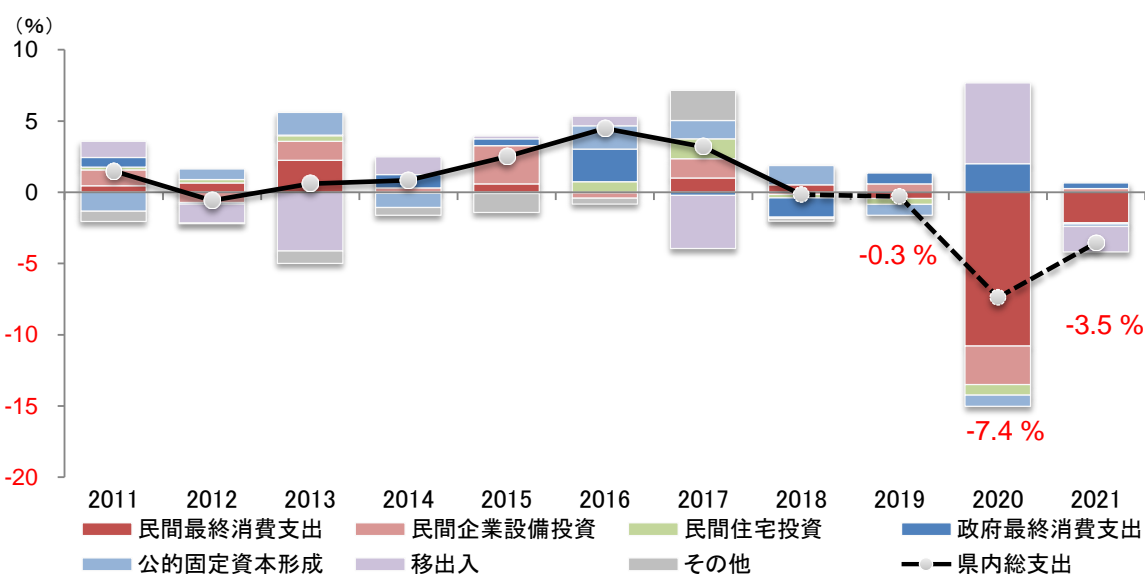
【政府支出（政府最終消費支出）】 2021年度 +1.2%

引き続きコロナ関連対応として事業者支援、病床確保などの課題あり、前年比増加。

【公共投資（公的資本形成）】 2021年度 ▲1.8%

豪雨災害の復旧工事費への計上もあるも、熊本地震関連の工事は一服し前年比減少。

図表2 熊本県の名目経済成長率と項目別寄与度の推移



資料：県民経済計算（熊本県） ※2019～21年度は当研究所予測